

シルバーとよなか

ふれあい

2001年9月

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.33

つ さ い あ ご



理事長

水上 利夫

本日は、平成十三年度社団法人豊中市シルバー人材センターの通常総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には、大変お忙しい中、この様にたくさんご参加をいただき、誠にありがとうございます。本年度の通常総会を開くにあたり、一言ご挨拶申し上げます。過日の新聞紙上では、景気の現状について、米国景気の減速の影響を受けて「生産や業況判断の方



豊中市長

一色 貞輝

豊中市シルバー人材センターの平成十三年度通常総会のご盛会を

向は下向」とし、雇用情勢につきましても、完全失業率が高水準で推移し、求人も依然として厳しく、経済の再生が容易でないことを明らかにしています。

また、私たちを取り巻く社会情勢も、医療・年金等の社会保障制度改革に見られるように、個人の経済的能力や自助努力を基礎とした給付や自己負担など、高齢者にとつて、より一層の自立や責任が求められる時代を迎えようとしています。

こうした社会情勢や経済環境は、センターに対しても、運営面や事業面で大きな影響をもたらしているところでございます。

この様な情勢下ではありますが、当センターの平成十一年度事業実績を見ますと、会員数は一、一九九人、契約高では、景気の状態等から落ち込みを心配してありまし

心からお慶び申し上げます。

平素は豊中市政の推進に温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

貴センターが、高齢者の就業と生きがいづくりの場として、順調に発展をされ、着実な成果をあげておられますのも、水上理事長さんをはじめ、歴代の役員の方々、並びに会員の皆様方のためまぬご努力の賜ものであり、深く敬意を表します。

現在、当市における高齢化率は

だが、前年度に比して九・七％増の四億六千万円の実績を上げるとともに就業率では一六・一ポイント増の七七・一％となりました。これもひとえに、会員の皆様、豊中市を始めお客様のご協力とご支援の賜ものと深く感謝いたしているところでございます。

ところで、シルバー人材センター事業の根拠法であります、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が昨年十月に制度改正されました。

これは、少子高齢化の社会的背景を受けて六十五歳まで働き続けられる社会を作る中で、シルバー人材センターの活用を高齢者対策の柱の一つと位置付け、その機能を強化しようとするものであります。

当センターにおきましても、こうした動きに合わせ、定款の一部

一四％台に達しております。

急速に進行する高齢化社会の中で、高齢者が元気に活動される場所の一つとして、シルバー人材センターへの期待は誠に大きいものがあります。

豊中市シルバー人材センターが、高齢者の方々の就業を促進する核として今後ますます発展されますよう、併せまして、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

改正を行い、新規事業の開発と、平成十年度から取り組んでおりますセンターの諸改革を本年度も引き続き積極的に推進していきます。また、きめ細かなお客様訪問による職域の拡大と就業機会の提供により、会員がセンターに入会して良かったと思うよう、運営面、就業面でさらなる成果をあげるよう努力いたします所存であります。

本日の総会には、平成十三年度の事業計画等重要な議案を提出いたしましたので、十分ご理解・ご審議いただきありがとうございます。最後になりましたが、本年九月五日には、センター設立二十周年記念式典を予定しておりますので、積極的な参加をお願いするとともに、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。



平成13年度 通常総会盛況裡に終わる

二十一世紀最初の総会は、アクア文化ホールにいつぱいの会員の参加を得て開催。今年度の通常総会では、決算や予算、事業計画等に加え、会員就業をより積極的にすすめるため、定款の一部変更を議題とし、新しい世紀を実りの多いものにするための総会となりました。

総会は、事務局の司会が進み、一色貞輝市長さん、市議会清水正弘議長さんからの温かい励ましの祝辞が司会者から紹介され、引き続き議長の選出に移り、議長に第五班の阪口充男さんが選ばれた。本年度の総会構成員一、

三六八名、出席会員八四九名（うち委任状五〇九名）で定款にもとづき、議長が総会の成立を宣言。議事録署名人に、第七班伊木年数さん、第九班吉村晟さんが指名され、議事に入った。第一号議案は中川善博（前常務理事）さんの辞任にともない、松本友氏（現常務理事兼事務局長）さんの役員選任について説明がなされ、全員異議なく承認された。第二号議案として厳しい経済環境、社会情勢のなか、昨年の法改正を踏まえ、高齢者がシルバー人材センター事業を通して健康の維持、社会参加等を目的として就業機会の拡大を図れるようにするため、定款の一部を変更することについて説明がなされ、異議なく承認された。次に第三号議案、事業報告、第四号議案、収支決算報告については一括して説明がなされ、監事を代表して第十五班村田嘉康さんから監査

報告が行われた。会場からは、事業報告のなかの傷害事故について説明を求められた。改めてシルバー人材センター事業は、安全第一であり、事業実績が伸びていても事故は発生させてはならないことを説明するとともに、ケガをされた会員さんの状況について報告がなされた。答弁のあと二議案とも異議もなく可決承認された。引き続き第五号議案、事業計画案、第六号議案、収支予算案については関連していることから一括審議となり、説明が行われた。両議案とも異議なく承認された。議長から平成十三年通常総会の議事はすべて終了した旨つたえられ、議長の退任挨拶の後、総会は閉会された。

今年も総会の運営、準備にと多くの会員がボランティアとして参画していただきました。



豊中市議会議長

清水 正弘

社団法人豊中市シルバー人材センターの平成十三年通常総会が

開催されるにあたり、市議会を代表してお祝いのご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から市政各般ならびに市議会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国では、世界に類を見ない早さで高齢化が進展しております。このような中、貴センターにおかれましては、昭和五十六年の設立以来二十年の永きにわたり各種事業を展開され、会員の生

きがい確保と健康の増進を図り、地域社会の発展に貢献いただいております。ここに改めまして、皆様方のご活躍に対し、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

二十一世紀の幕開けとなります本年四月には「特別市」としてスタートをしましたが、当市の財政状況は大変厳しく、ただ今全市を挙げて財政再建に鋭意取り組んでいるところでございます。

市議会といたしましても、地方分権という時代の大きな流れを踏

まえながら、住んでよかつたと言えるまちづくりに努力を傾注してまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

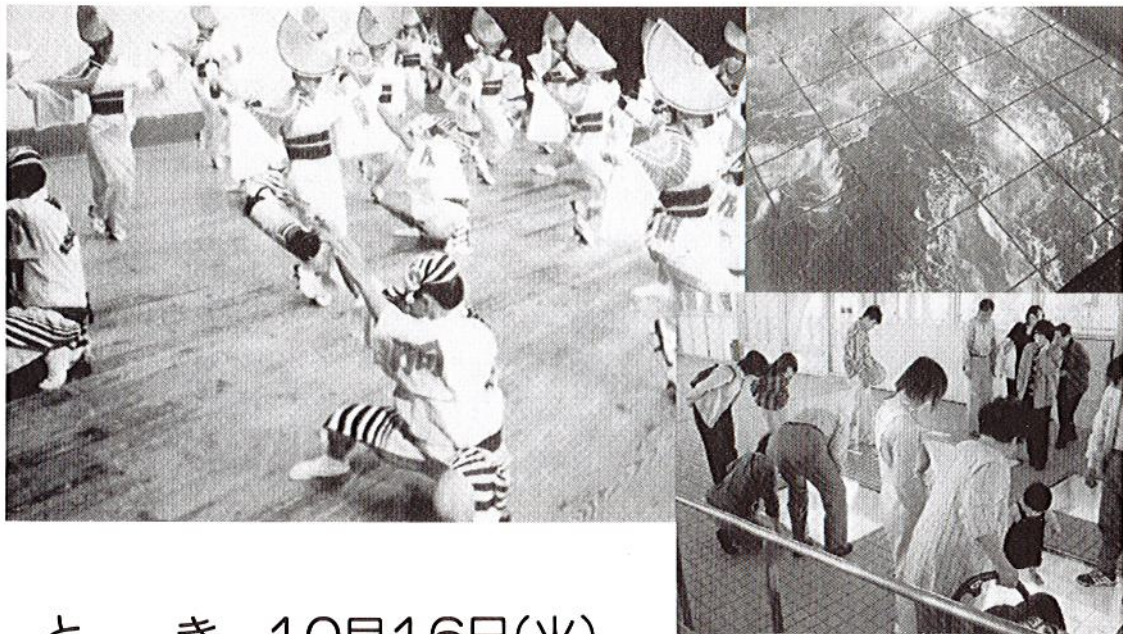
結びにあたり、豊中市シルバー人材センターのますますのご発展と本日ご参加の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。お祝いのメッセージとさせていただきます。

みんなで参加しよう

徳島阿波踊りと渦の道ウォークの旅

＜社団法人豊中市シルバー人材センター設立20周年日帰りバスツアー＞

徳島阿波踊り会館では本場阿波踊りの実演と希望者には **体験レッスン** を受けることができ、踊りの輪に入ることもできます。



と き 10月16日(火)
 負担金 7,500円
 募集人員 90名
 申込締切 10月5日(金)

集合場所	時間
千里中央ジョモガソリンスタンド 千里阪急ホテル近く	7:35
庄内湯川家具前	7:55
豊中市役所	8:10

豊中各地 —— <中国・山陽> —— 明石 —— <明石海峡大橋> —— 鳴門北IC ——
 8:00頃

新名所・渦上45Mのスリル。片道450M車椅子有り。 鯛料理の昼食宴会場にて

—— 鳴門「渦の道」海上ウォーク —— 鯛丸(昼) ——

新名所・本場阿波踊り実演と体験レッスン

—— 徳島阿波踊り会館 —— <明石海峡大橋> —— 豊中各地

13:15

14:50

18:00頃

今回、バスの乗降場所を3ヶ所にしています。参加される会員の方は、ご利用しやすい出発場所を参加申込の際、併わせて連絡してください。ただし、参加者の希望集合場所にかたよりのある場合、出発場所の変更があります。

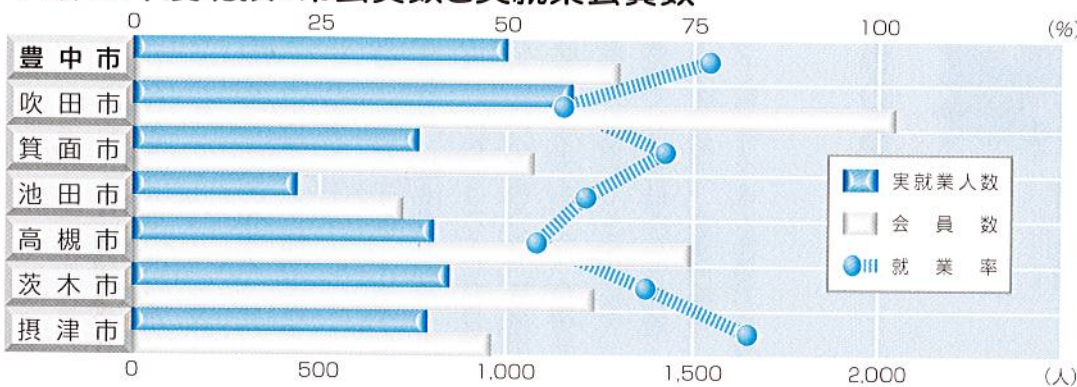
また道路事情等により、行程を変更する場合があります。

賛助会コーナー

- (株)イーパック (白出町)
- (株)三和ビル (庄内東町)
- (株)高尾鉄工所 (島江町)
- (株)加納 (中椋塚)
- (株)オカキン (原田中)
- (株)渡辺製作所 (名神口)
- (株)一葉 (本町)
- (株)湯山製作所 (名神口)
- (株)太鼓亭 (箕面市稲)
- (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
- (株)内田スプリング製作所 (千成町)
- 三栄源工フ・エフ・アイ(株) (三和町)
- 日章アステック(株) (名神口)
- 大阪理研工業(株) (神洲町)
- 名鉄観光(株) 梅田支店 (大阪市北区)
- やまかつ(株) (大阪市北区)
- 岸岡企業(株) (庄内西町)
- 東米精機(株) (浜)
- 国産部品工業(株) (新千里東町)
- 詢イーパック物流 (白出町)
- 詢ティアンドビー (尼崎市小中島)
- 仏光山如来寺 (箕輪)
- 正光山浄行寺 (走井)
- 庄内神社 (庄内幸町)
- 矢部文雄 (上野東)
- 西岡孝 (本町)
- (敬称略)

平成12年度北摂7市会員数と実就業会員数

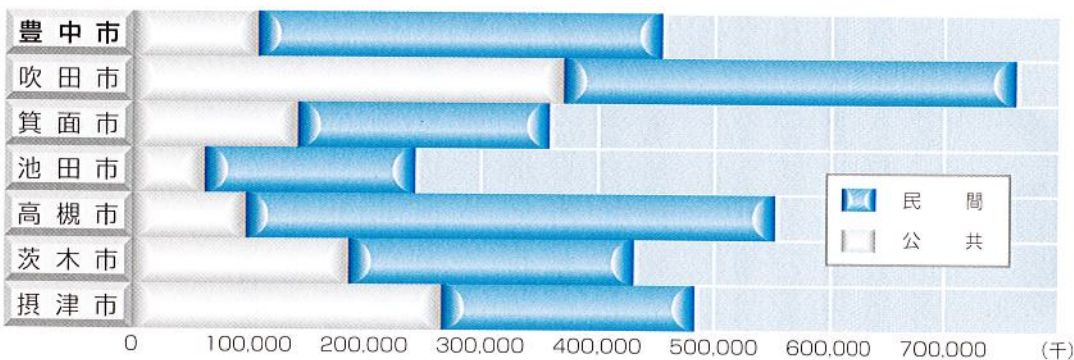
単位：人



市	会員数	実就業人員
豊中市	1,299	1,002
吹田市	2,045	1,177
箕面市	1,074	765
池田市	724	439
高槻市	1,494	808
茨木市	1,235	850
摂津市	962	792

平成12年度北摂7市契約金額

単位：千円



市	公共	民間
豊中市	107,670	353,175
吹田市	370,791	390,451
箕面市	142,214	215,958
池田市	62,040	140,060
高槻市	97,401	454,268
茨木市	186,306	244,490
摂津市	266,482	216,782

編集のしおり

シルバー人材センター創立20周年記念式典は、会員皆様の誇りと期待にこたえ、盛大裡に終了、まことに慶ばしいことでした。

式典を成功に導くべく、尽力された関係各位の努力の賜物であり、会員皆様の底力、パワーの大きさを目の当りにした想いでした。

私達の誠実さ、豊富な経験と技能は、これからの社会に益々必要になるものと確信しております。

さてこの原稿をまとめている今、世界を震かんさせた同時多発テロがリアルタイムで報道されています。物騒な世になりました。

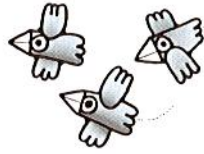
高齢者を狙う「ひったくり」騙し商法、暴力など思わぬトラブルに巻き込まれないよう気をひきしめましょう。

表紙の写真は、会員の藤田泰通さんにお願ひ致しました。

※映画のシーンを想わせるテレビ画像は正に現実です。私達の生活にも影響が出て来ます。



世界最長老の
巨匠



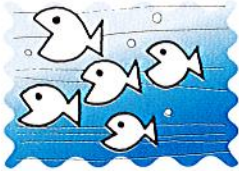
第十二班

藤田 泰通

十周年記念誌に指導者レナード・バースタインを偲ぶ一文を載せて頂いて早くも十年、奇しくもその時のバースタインと同じ年になってしまった。十年の間に惜しくも世を去ったマエストロは数多いが、一方今なお豊饒として棒を振る朝比奈隆氏、一九〇八年生れ九十二歳世界最長老の指揮者の一人である。小生が氏の生演奏に初めて接したのは、約半世紀昔の一九五〇年頃大阪桜橋の新築間もないサンケイホールでの演奏会だったと思う。あの長身白哲の風貌、

何の怪我だったのか左腕を大きな白布で吊つての指揮振りは今も記憶に残る。プログラムはメインがチャイコフスキーの六番のように記憶する以外も何も覚えていない。その老巨匠が今年は氏の最も得意とするブルックナーの交響曲の全曲演奏を行うとのことである。氏のブルックナーは、近年へと云つても二十数年前からではあるが、欧米でも絶賛を博している。この秋には六く七曲の演奏が終わっているだろうか。音楽史に残る偉業となるであろう。有能な若い音楽家が抬頭してくる中において九〇歳代でなお現役として活躍できるその才能と努力。我等高齢者、誠にもつて範とすべき大先達である。

心の名刺を
もとう



第十七班

武井 利雄

サラリーマン時代は名刺一枚で営業をやってきた。

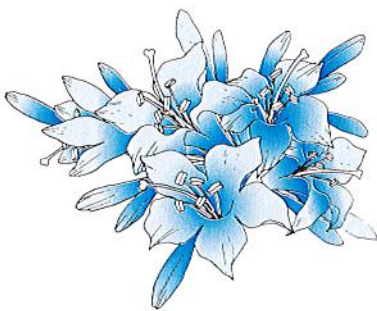
退職し、社会に役立つとシルバ

人材センターの会員となり、街の美化と資源の活用ということで「空き缶回収管理」に四年ばかり従事した。

缶を持つて来られる方々もいろいろで話題も多い。小学校の学級全員で来た集団。身障の方とバラエティに富んでいた。来られた人々の性格等の違いで対応に苦労した。私は常に平等と思いやりの気持で相手を理解するよう努めた。

その中で特に意識して実行したのは「挨拶」と「苦労様」「気をつけて帰つて」と声をかけることにした。この三つの言葉が私の心の名刺と思つている。

会員として与えられた仕事は当然であるが、人に喜ばれることを積極的に心掛け、実行し、流石シルバの会員であるとの自覚を「心の名刺」としていつまでも、持ちたいものです。



「ふれあい帽子」の
取材は数珠繋ぎ



第四班

徳永美恵子

センターに入会後の私は家事サービスの仕事を一筋に、多くの皆さんから支えられ経験と体験そして一杯の努力を重ねて十年の節目に「リイン」した。ある時「ふれあい帽子の記事を書いてみては？」と勧められた。突然の申出に戸惑いを感じたが、一歩前進しようとお受けしてスタートした。男性の職場、女性の職場と次々にお邪魔する。どの職場にも時を刻んだ個性があつて取材の糸口に辿るまでには、不安と少しの勇気が必要だ。先日取材の途中でペンが止まった。顔をあげて見ると目の前にSCマークの帽子の下で笑顔が見えた。作業中の皆さんは、無駄な私語もなく、次々に別ける作業。何時も取材が終わるとホッとすると「今日の取材で感想は？」と聞かれると、答は毎回同じです。職場の皆さんは、ただ仕事の繋りだけではな

く、お互いに助け合う気配りと、そして、さり気ない労りの気持ちが一
人ひとりに働く自信をそして仕事の
環と云う数珠繋ぎを成功に導いてい
る。私も一字一字を正確に取材して
成長したい。「ふれあい帽子は楽しみ
に読んでまつせ。」と声をかけられる
と、とても嬉しい私。次回の取材は
何所に決まるのかな頑張ろう。

私は

ホームヘルパー



第一班

岡野寿美子

昭和二十七年から独居老人のボラ
ンティアヘルパーとして、二十年間
昼夜にわたり歩み続け、昭和四十五
年に市の家庭奉仕員となり、二十年
間走り続けた後、定年退職の翌日か
ら市の福祉介助員として三年余り勤
務し、その間も近隣の方々のボラン
ティアヘルパーを現在まで一日も休
むことなく続けております。シルバ
ー人材センターに入会させて頂き早
や六年になりますが、知事の証明(一

級)と厚生省の海外研修(北欧)一
ヶ月に参加し、ヘルパースーパーバ
イザーとカウンセリングの資格も併
せ持つていきますので、事務所にその
旨を伝え、何とかお役に立ちたいと
三度び申し上げましたが、そのまま
放置され、今日まで過ぎてしまいま
した。最近ではある理事さんから「へ
ルパー養成研修を受けて資格をとつ
たら」とか「ヘルパーの仕事は大変
だから七十過ぎると仲々仕事はない
よ」とのお言葉でした。私も今年七

十歳になりましたが、今年五月某へ
ルパー派遣会社の強い要請を受け就
職することが出来ました。また小学
生通学安全のため昭和四十年から緑
のおばさんとして引続き交通指導員
として毎朝七時半から八時半まで現
在もボランティアとして立っており
ます。また近隣の公園が余りにもひ
どいごみ捨て場と化し子供達の非行の
たまり場となっていたので、私も青
少年補導委員、子供会指導者代表と
しての経験上放置出来ず、シルバー
人材センターに相談しましたところ、
公衆便所のある公園は人材センター
で雇っているが、その他の公園は市
民の善意にすぎるとの事かたの事か
でした。早速、公園緑地課に電話し
了解を頂いて掃除に取りかかり四年

余り、朝に夕に老人の相談相手に、
子供達と仲良くなり、夜は、非行防
止にと毎日が充実し、老若男女が立
寄り多くの方々喜んで下さり、生
甲斐の日々です。シルバー人材セン
ターが出来て二十周年を迎え、多く
の理事さん方のご苦労が積重ねられ
今日までの発展に繋がって来たもの
と確信致しますと共に、益々のご発
展を祈りつつ筆を置きます。ありが
とございます。

設立二十周年を

迎えて



第十三班

岡本宗五男

新世紀を迎えた今、これまでの豊
中シルバー人材センターの歩みを振
り返ってみますと、長引く不況の中
にあつても、府・市の財政事情逼迫
に伴う補助金削減分を補充すべく、
国の高齢者緊急雇用対策にすばやく
対応し、また行政の所管業務を振り
当ててもらつたなど事務局並びに就
業用開拓部会を中心とし、経営トツ

プの並々ならぬ努力のお陰で二十一
世紀の初頭を〇〇〜〇〇%余りの増
加で飾るといふ業績の裡に新世紀を
迎えようとしていることは誠に喜ば
しい限りであります。

さて、私は七年前、全シ協の、「会
員の主張」で全国で一席(二人の内
の一人)に選ばれましたが、そこに
描かれた思いの中、何も実現される
ことなく今日に至つておりますこと
を思うにつけ、慙愧の念を禁じ得ま
せん。

元来、このシルバー人材センター
に登録されている方々の中には、長
い人生の中で培つてこられた技能・
知識・経験を生かしたい、もう一度
社会の役に立ちたいと願つて入会さ
れた方が多いのではないだろうか。
しかし、現実には、事務局が職を提
示しても、その職種に見合つた技能・
知識・経験に欠けるという理由で、
折角の求人にも応じられないという
事態が頻発しているように聞いてお
ります。そう云つて嘆いてばかりい
られないので、様々な研修のみちが
提供されても来ました。このことは、
毎回くわしく「事務局だより」に報
じられている通りです。
会員から云えば、願つている職種
が提示されなかつたから就業できず

に何年も経ってしまった、と言つのが現実ではないでしょうか。高齢化と病気発症などの理由で就業出来なくなつたために退会された方も多いことは事実でしょう。また、会費未納会員の整理がなされ、今や働く意欲のある人達ばかりが残つてきたこととなります。

そうになると、事務局・経営トップの責任は重大です。あえて、経営トップと云いましたが、公益法人であつても、社団法人である以上、理事の方々には言わば法人会社の役員に相当する訳ですから、私も理事の一人として責任を痛感しております。

限られた職種を提示して、それに応募しなければ、労働意欲がないかのような対応は、会員の意図に反しているのではないのでしょうか。それでは、新しい時代の要請に應じられないのではないのでしょうか。

二十一世紀は、新しい次の二〇年を見据えて、どうすれば、会員の満足が得られるような運営ができるかといった角度からシルバーセンターの活動を展開していきたいものです。



設立二十周年を 迎えて



第九班

野口 高茂

社団法人豊中市シルバー人材センター二十周年記念総会が、九月五日に開かれます。昭和六十一年に入会してから早や十五年が過ぎた。田辺さん、中井さん、村井さんとは長いつき合いになった。

昨年は二〇〇〇年、そして今年は二〇〇一年新世紀として生きている。また、豊中市老人クラブ連合会は、昨年四十周年記念大会を副会長として主催し、新しい門出を祝つた。われわれのクラス会も大塚（現阪大薬学部）卒業後六十周年を迎え、十月にはその幕を閉じることになっている。夫々思いは異なるが、人生の節目として前向きに思っている。

クラス会の四十周年記念誌は、本製本、二四〇頁の豪華本が作れたが、六十周年は原稿の集まりが悪く、予算も残り少なく、心もとない。ここにも二十年の歳月の流れを感じる。

しかし、シルバーの二十周年記念誌は、沢山の原稿を頂き、予算も充分にて、内容・編集・装丁共どこにも負けないものと編集にとりかかつております。

◎時の流れ

時間の存在することは、誰にも絶対均等である。同じように訪れるということである。そして、車を運転する人は、メーターを見て車のスピードを調整する。即ちスピードの「時間」を知り、距離と時間の関数として認識する。

もう一つは、殺人や交通事故が多発しているが、取り返しをつかないことをしたと後悔するとすれば、「昔を今に戻す由がないということ」即ち「不可逆性」である。

時の流れを考えると、誰も、過去、現在そして未来という経過を考え、一種の流れとして、「今の系列」と考察するのが普通である。しかし、今とは何であろうか。われわれは普通それが自分自身の体得する時と考え、本当の問題となるのは、「このとき」いわゆる瞬間自体なのか、その時に遭遇している「われわれ自身」なのか。

「来年のことを言えば、鬼が笑つ」昔に比べ、十年が一と月のように変

化の激しい現代では、古語になつてしまったような感がする。

しかし、一面において、危険一杯、病気の不安も多い我々にとつては、一寸先のことは解からないという意味では正しい。年の順に従わず訃報に接することが多くなつた昨今、その感を強くする。

改革、改革の大合唱。バブルが弾け十年も経つてやつと…。政治ひいては国民の無関心の結果と反省せねばならぬ。

われわれを取り巻く状況は、資本主義の限界もわかり、情報を手にした経済世界は、勝者と敗者が明確になり、競争の重みは、益々大きくなる。苛酷な競争社会より、精神的安心の社会「心」を求める社会が待たれる。マスコミも評論家も心の合唱であるが、芯がない。皆さんが自分で考えだしてほしいと思う。

この不安の時代、時の「不可逆性」即ち、取り返しがつかないことのないよう、豊富な経験をお持ちの皆様のごとゆえ、賢く生きてほしいと切に祈っている。



想いのたけをふみに託して：

俳句

第十班 北森 隆幸

我流思ひつき駄句

ボール蹴る孫の笑顔や春近し

夢殿や心温たか冬深し

梅雨晴に緑目にしむ熊野路や

初夏の海釣舟照らす夜半の月

鬼の里雲海沸くや秋の朝

色づいた紅葉のアーチ鹿歩む

雪の中春を知らせるフキのとう

寒の夜に百花繚乱水着ショー

第十班 朝倉 幸子

風そよぐ英国流に杖持ちて

寒月や旅の路銀も不安なり

(人生の旅路の金子はどれだけか)

いつの日か逝かん冥の地周桜の季に

第二班 須藤 みきを

定年や朱の輸袈裟の遍路人

いみじくも世を野遊びと遍路哉

おへんろも讃岐うどんを打つ日あり

かなかなや西の高野の法灯に

海峽の落暉に染まる夕遍路

第二班 平ノ上 砂子

初夢は夫と旅せし北陸路

年重ね供えるのみの年の豆

逝きし兎の今は六十雛祭る

赤飯の来し日は遠し柿若葉

朝露の苔に眞白き沙羅の花

第四班 村井 實代子

一の湯に浴衣タオルで三々五々

瀬戸の香今年もくぎ煮夏ちかし

もう誰もみない故郷桐の花

墓参り青田の畦を娘と日傘

雨の中紅き紫陽花色さえて

短歌

第十班 北森 隆幸

春

春ですと梅の小枝の鶯が

老の我が背に勵げます声が

夏

暑き日や沖繩の空澄みたれど

海に寝むるや 兄二人

秋

朝日あび色彩豊かな華嚴寺へ

満願果す 神無月

冬

我が命預けし名医寒き日に

厳しく論し優しき笑顔

妻楊枝細工

古里の奈良の都を細工にと

こもごも想ひて秋の日暮れる

見る人に楽しみ心傳え度

楊枝張りつつ見上げる月よ

ハルビシ 哈爾浜で思ひ出させし塔や瀧

楊枝に託し老の身爽やか

言葉無く細工をしつつ哈爾浜の

暑きあの日の想ひ新々に

細工事萬の人に傳えよと

優しく取材笑顔の記者よ

第十班 朝倉 幸子

人格の礎となりし 白亜なる

殿堂仰ぐ 若き心で

NGのバッチ 掌にのせ 青春の

あのプライドをじつと想う日

(日本銀行松江支店の移転に寄す)

同好会だより

ハイキング同好会

比叡山を周遊して

第十二班 山路 政市

五月のハイキングは十二日(土)に行く。晴、参加人員二十九名。今回は電車の乗降りが激しいので小原さんの案で淀屋橋で周遊券を購入した。淀屋橋からスタートして、二条京阪から浜大津、坂本まで行き、京阪バスでケーブル坂本まで行く。時間を調整して三〇分間隔で運行しているので十五分程待つ。

坂本は石積みと歴史の町で美しい。比叡山麓の坂本は、古くから延暦寺の門前町として栄え、比叡山の守護神である日吉大社をはじめ日吉東照宮等豊富な史跡と自然が息づく静かなたたずまいの町である。

坂本ケーブルは長さも景色も日本一。たしかに広大な景観は素晴らしい眺めである。駅からバスセンターを通り過ぎ、延暦寺境内へ入ると静けさが漂う独特の雰囲気である。東塔国宝の根本中堂に入ると、延暦寺の総本堂である。最澄自作の本尊薬師如来像の前には「不滅の法灯」が開創以来永く灯り続けている。小原さんは以前に來ているので、伝説的なことはよ



く知っていた。バスセンターまで戻り、西塔横川まで行く。横川の中心となる大堂で八四八年に根本観音堂として創建したのがはじまりで、二度焼失してしまいました。横川中堂までの参道の景色は抜群で、自然の美しさが漂っている。約十五分でバス停に着く。

シャトルバスを利用して比叡山々頂へ。頂上からは、びわ湖を眼下に見おろし雄大で素晴らしい眺めである。頂上に見るものと言え、ガーデンミュージアム比叡がある。二〇〇一年四月二十五日オープンする。フランス印象派の画家たちが描いた花や庭の絵画をモチーフに、フランス人デザイナー

ーが設計した「ガーデンミュージアム比叡」約一・七haの園内には、南フランス・プロヴァンス地方の丘陵地方を再現した庭や睡蓮の池など趣向を凝らしたフランス風庭園が展開されている。本田さん、滝野さん、羽生さんが山頂などをたくさん取っていた。山頂からロープウェイとケーブルを乗り継ぎ、八瀬遊園に着く。頂上まで八四八、三米である、山は涼しく楽しいハイキングであった。

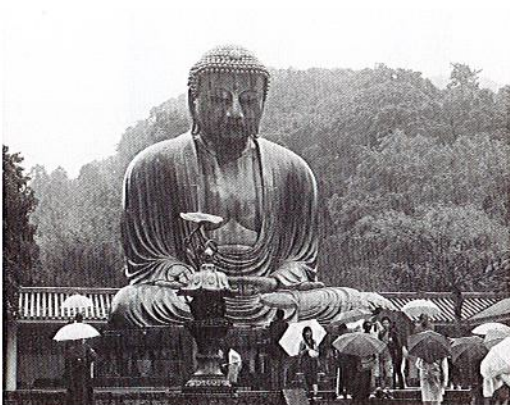
Ｔ・シルバーバートン同好会

お寺参り

第一班 山田 英明

昔から年寄りのお寺参りと言った言葉をよく耳にして来ましたが、年をとりますと何故お寺参りするのでしょうか。それは死後極楽浄土に行きたい欲望があるがため僧侶の法話を聞きに行くのではないのでしょうか。いくら立派な僧侶の法話を聞いて納得しても、「ハイサイナラ」とお寺を出ると元の自我の強い人間に戻ってしまうのが常でしょう。これではお寺参りの意味がない。人間には慾がありま。その慾が私利私欲に明け暮れ自分だけが良くて他人の迷惑は考えないであれば、いつかは先ず人為淘汰されるでしょう。そこで己の行為と精神作用に気がついて改めることが出来れば良いが、さも

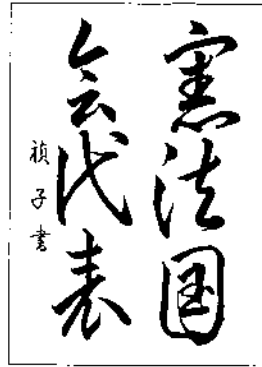
ないと今度は自然淘汰されることは必定でありましょう。であるが故に自我を没却し、与えられた仕事については忠誠努力にして要求せずの精神であらねばならないと思います。昔からよく云われる言葉に「言は易く、されど行は難し」と言われますが、言うことも行なうことも易いけれど、その志ざし極めて難しいと云われます。通行中に知人に出会ってこちらから挨拶をしたけれど、相手は返礼をしなかつたら腹が立つでしょうが、挨拶と言うものは相手に対する幾許かの尊敬の念から出た行為言動なので、腹を立ててはなりません。何事においてもこれからは慈悲寛大、自己反省と忠誠努力、不要求で自我没却の精神で残り少ない現世を、世の為、人の為に健康で働いて行くことではありませぬか。



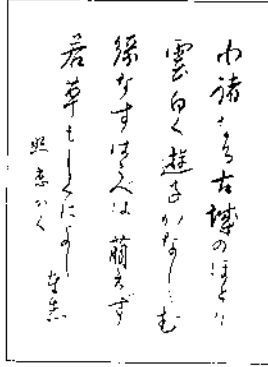
書道同好会

第四班 藤本 照恵

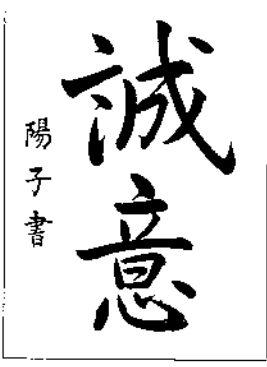
月一回、先生方から上手になつたとおだてられ、楽しく心なごむ日々を重ねて、はや六年が過ぎました。五月から加えて筆耕も始めました。新しいテーマに挑戦したいと張切っています。



第3班 松田 禎子



第4班 藤本 照恵



第14班 弘岡 陽子



ひき子書

第17班 久保ひさ子

囲碁同好会

第三班 梶浦 武彦

囲碁の楽しみの一つは、古来から言い伝えられる碁における格言とも秘訣とも言つ簡条である。

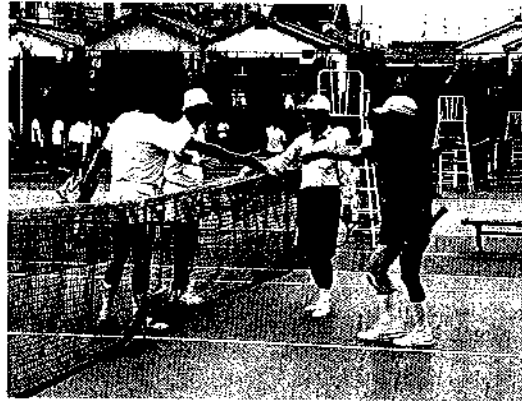
それを実際の打碁で成程と、しみしみ実感することである。例えば最も良く知られた簡条の一つで、「食るは勝を得ず」と言うのがあるが、柔の極意にも通するような格言であり、戦いの秘訣とも言えようか。このような色々な体験を、楽しむ事が出来るのも囲碁の楽しみの一つに挙げられよう。

さて、今年度の囲碁大会は九月五日のシルバー人材センターの創立二十周年と記念して当日実施しよう準備してあります。

会員皆様の奮つての参加をお待ちしてあります。詳細は追つて事務局使りにてお知らせ申し上げます。

テニス愛好会

毎週一回豊島公園テニスコートでダブルスゲームを楽しむ。懸命にボールを追ひ健康な汗を流すの幸せ。
世話係 藤田泰通(十三班)
六八四五一七七八四



美術サークル

第一班 山階 康雄

美術サークル発足して今年の七月で二年になる。人数的に若干不足気味ではあるがお互に気持を知り尽くした仲間となる。屋内で静物スケッチより屋外へ出て自然のスケッチを楽しむのも良いと思ひ五月、七月と五月山、六甲山へと行く、常田傾行きたい所があるが

一人ではなかなか実行出来ないものであるがグループでの行動では比較的可能となり一段と楽しさを増してくる。目的場所により一時間ちよつとで別世界へと、下界を望み静寂な緑溢れる森林、別登山者とも心あきなく挨拶「何んのグループですか」絵のスケッチを兼ねて「これはすばらしいですね」返事が返る。梅雨時期で延期七月真夏の六甲山へと十三駅に集合、一名油絵の友達も参加張切つて出発、六甲駅阪急バス十時十分発、山頂行二十数分で到着すると案内、気をよくして乗車、車窓より見上げる六甲山半分程雲がかかり不安を隠しきれない。バスの案内では標高九三三米大阪平野、大阪海岸が一望出来る絶景の場所：山頂に到着気温低く、三十米先霧で見えない瞬間風速十五米台風なみだ、スケッチどころではない、最悪と思つよりバスで二十数分で別世界へと案内してくれてこれぞ別天地、外国へでも来た様だとはしやぎ笑いこける。

近くに博物館があり無理を願ひ厚食を共にする、そうそうに下界へ真夏の暑さ夢みたいだ、海岸通りへひたすら歩く、大型船舶、はてしなく広がる海を見てようやくスケッチ三時過ぎ今度は夕立、近くのトイレで雨宿る。ふんだりけつたりであるが考え様では思ひ出に残る一日でもあった。次はどこへ行くのか？

蚊取線香、腰にぶらさげ雑草と戦う除草班の会員さん

第四班 徳永美恵子

一步外に出ると太陽がギラギラ
天気予報によれば、今朝は今年一
番の暑さとか。思わず大きな溜息
が出る。今回は除草班の活躍を取
材に伺う。車は静かに住宅地に入
り目的の現場に到着した。玄関の
石段を少し昇ると、其処は一般家
庭の広々としたお庭が有り周囲は
ブルーとグリーンの防音シートで



私は“ふれあい”帽子

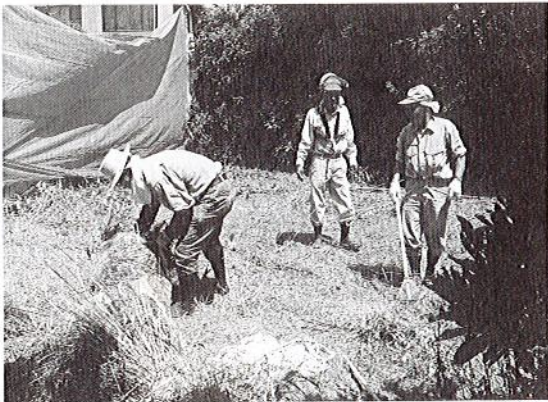
囲まれている。早速皆さんに、ご
挨拶を済ませると、丁度十時の休
憩時間になった。リーダーの溝渕
さん、當山さん、上田さんに腰を
降ろして頂く。私の傍には大きな
ビニール袋が届いた。中味は廃材
でパンパン、此の上に坐って下さ
いとこの事。いきなり坐つたら私は
滑つてコロリン、坐り直してドツ
コイシヨ!!皆さんのご好意に感謝、



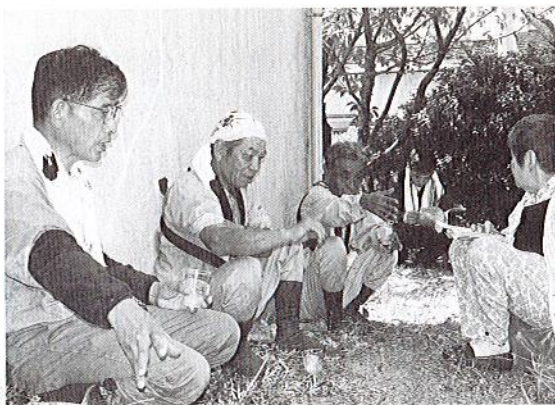
早速取材をお願いする。

一服している皆さんのヘルメツ
トの下からは汗が流れ落ちてい
る。帽子を脱いだ顔はクシヤクシヤ皆
さんは手元のお茶を息もつかず、
喉に流し込む。そして美味しいそ
うに一服の煙草。雑草ばかりの作
業現場の面積は約七〇坪の広さと
か。

暑さより難儀なのが蚊の攻撃。
「此の通り蚊取線香を腰に下げて
動くとき少しは楽やけどなア」と三
人の腰には丸いケースが見える。
見渡すと近所は住宅が多い。歩
行者、老人、子供達にも事故がな



いように、駐車場の車にも小石が
一つ当たっても大変ですから」とプ
口の厳しさを知らされた。機械の
取扱いには、特に安全を再度確認
していきますと皆さん異口同音「そ
れから廃材と機具の一部は、運転
班が持つて帰ります」との事。
運転班と聞いて、思わず私は身
を乗り出した。「ふれあい帽子」の
新年号の取材は運転班をお願いを
した事が今では一寸なつかしい。
それぞれの現場が数珠繋ぎで活
躍の様子は嬉しい事。余り長居を
してもご迷惑と思ひ帰り仕度の私
に「暑い時に遠い所へ苦勞さんで



した。おおきに」と皆さん労つて
下さる。私は思わず胸が熱くなつ
た。余韻を残して今回も暑さに負
けない精一杯の取材が出来た。

取材後記

因に今回の取材場所は蛭池から
少々北に位置した待兼山。私は以
前から此の地名には、口マンを感
じていた。昔々此処でお月見の宴
が有り、集つた古人達は月の出を
待兼ねて優雅に一首和歌など「淡
路島かよう千鳥の云々」なんてご
披露したのでは。